

### 1 ほ場選定

- ・前年と同一品種ほ場とし、漏生粃による異品種混入を防止しましょう。

### 2 代かき～ほ場の均平に努める～

- ・代かきは播種の3～4日前(壤土・埴壤土)、2～3日前(砂壤土・壤土)に行う。
- ・少なめの水で代かきし、**わら等を土中に確実にすき込む。ほ場の枕地を練り過ぎない。**

### 3 播種作業～種子と肥料が均一に減っているか・覆土されているか 確認しよう～

#### (1) 播種時の土壌硬度(右図)

- ・播種作業が午前中の場合は前日の夕方に落水する。
- ・午後の場合は当日の早朝に落水する。

#### (2) 播種

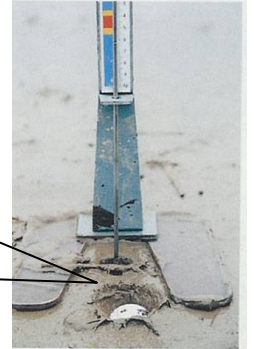
- ・播種量：10a 当たり **乾粃で 2.7kg 程度**
- ・播種深度：**土中5～10mm 程度を確保する。**

※点播の場合：栽植密度を60～70株/坪に設定する。

#### (3) 基肥(コシヒカリ)

- ・施肥量(LP s s 直播コシヒカリ)：壤土・埴壤土 27kg/10a、砂壤土 30kg/10a
- ・大豆跡や緑肥跡ではコシヒカリの直播を原則として行わない。地力の高いほ場では**減肥**する。

※ゴルフボールを地表  
1mの高さから落とした  
時にボールの上端が  
田面より**0～1cm 程度  
沈む。**






《播種時の土壌硬度目安》

### 4 播種後の水管理

- ・直播機でできた溝を排水に連結し、ほ場全体に軽い亀裂が入るまで5～7日間田干しする。
- ・田干し後は入水し、**浅水管理**とする。

＜水管理 例＞

作業	代かき				播種	田干し				入水(除草剤散布)					水の入替え										
水管理											浅水管理										浅水管理				
播種前後日数	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

### 5 除草剤散布

- ・散布後5日間は**湛水状態を保ち**、田面を露出させたり、水を切らしたりしない。
- ・播種後高温になると雑草の生育が早まるため、除草剤は登録期間の早い時期に散布する。

#### 【1回目】

播種5～7日後、ノビエ3葉期まで  
ベルーガ1キロ粒剤

出芽揃以降(播種7～12日後)ノビエ2.5葉期まで  
バッチリ1キロ粒剤

イネの1葉期以降(播種11～14日後)ノビエ3葉期まで  
エンペラー1キロ粒剤

#### 【2回目】

雑草が残った場合

イネの2葉期以降、ノビエ4葉期まで  
アクシズMX1キロ粒剤

イネ5葉期以降、ノビエ3葉期まで  
ザーベックスDX1キロ粒剤  
マメットSM1キロ粒剤

※ザーベックスDX1キロ粒剤、マメットSM1キロ粒剤は **15℃以下または30℃以上が予想される場合は使用しない。**

## 4/1～5/31 春の農作業安全運動実施中

【お問い合わせは JAいみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター射水班 TEL26-8478 まで】

【JAいみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/> 高岡農林振興センターホームページ <http://www.pref.toyama.jp/branches/1632/>】